

発達の段階に応じた道徳科の指導

畿央大学

教授 島 恒生



独立行政法人教職員支援機構

目次

- 1 道徳科の授業とは
- 2 目指す道徳科の授業とは
- 3 発達の段階とは
- 4 小・中学校の具体例
- 5 その他の工夫（例）

1 道徳科の授業とは

道徳教育の目標

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の（中：人間としての）生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。

1 道徳科の授業とは

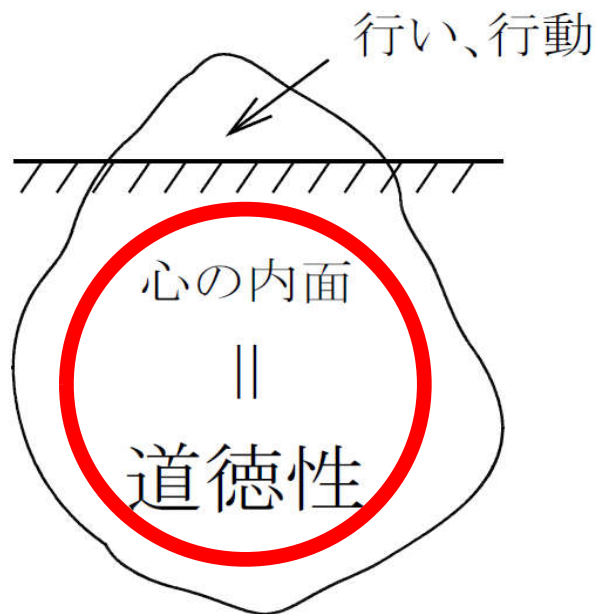
道徳教育の目標

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の（中：人間としての）生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。

1 道徳科の授業とは

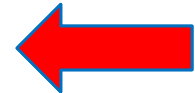
道徳性とは……

日常生活や今後出会うであろう様々な場面や状況において、適切な行為を主体的に選択し、実践できる「内面的資質」。行いや行動そのものではない。
行いや行動を支える見方や感じ方、考え方。

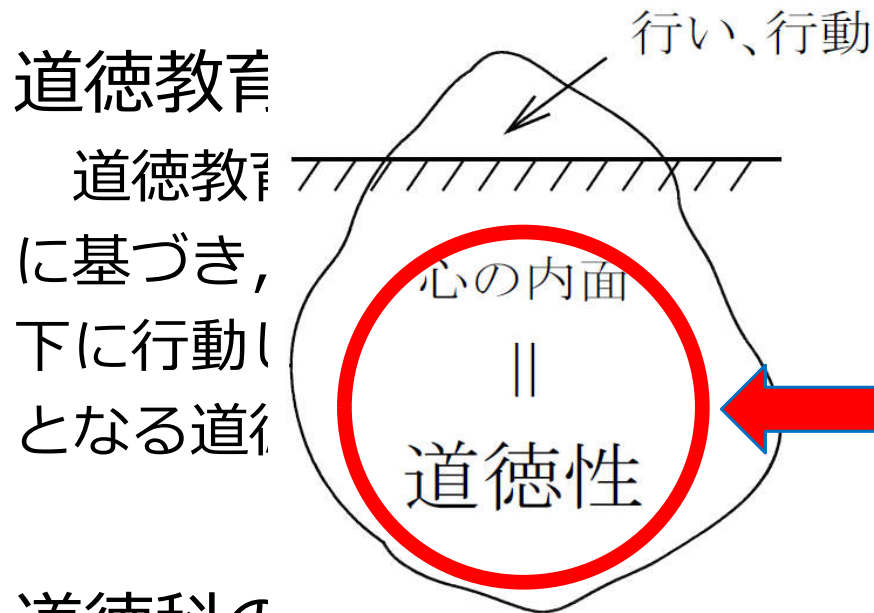


規則やルールを守る。

なぜ、規則を守ることが大切か。
規則とは何か。



1 道徳科の授業とは



学校教育法に定められた教育の根本精神（ての）生き方を考え、主体的な判断の他者と共によりよく生きるための基盤とする。

道徳科の目標

よりよく生きるための基盤となる**道徳性**を養うため、**道徳的諸価値についての理解**を基に、自己を見つめ、物事を（中：広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（中：人間としての）生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

1 道徳科の授業とは

道徳教育の目標

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の（中：人間としての）生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。

道徳科の目標

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（中：広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（中：人間としての）生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

1 道徳科の授業とは

道徳教育の目標

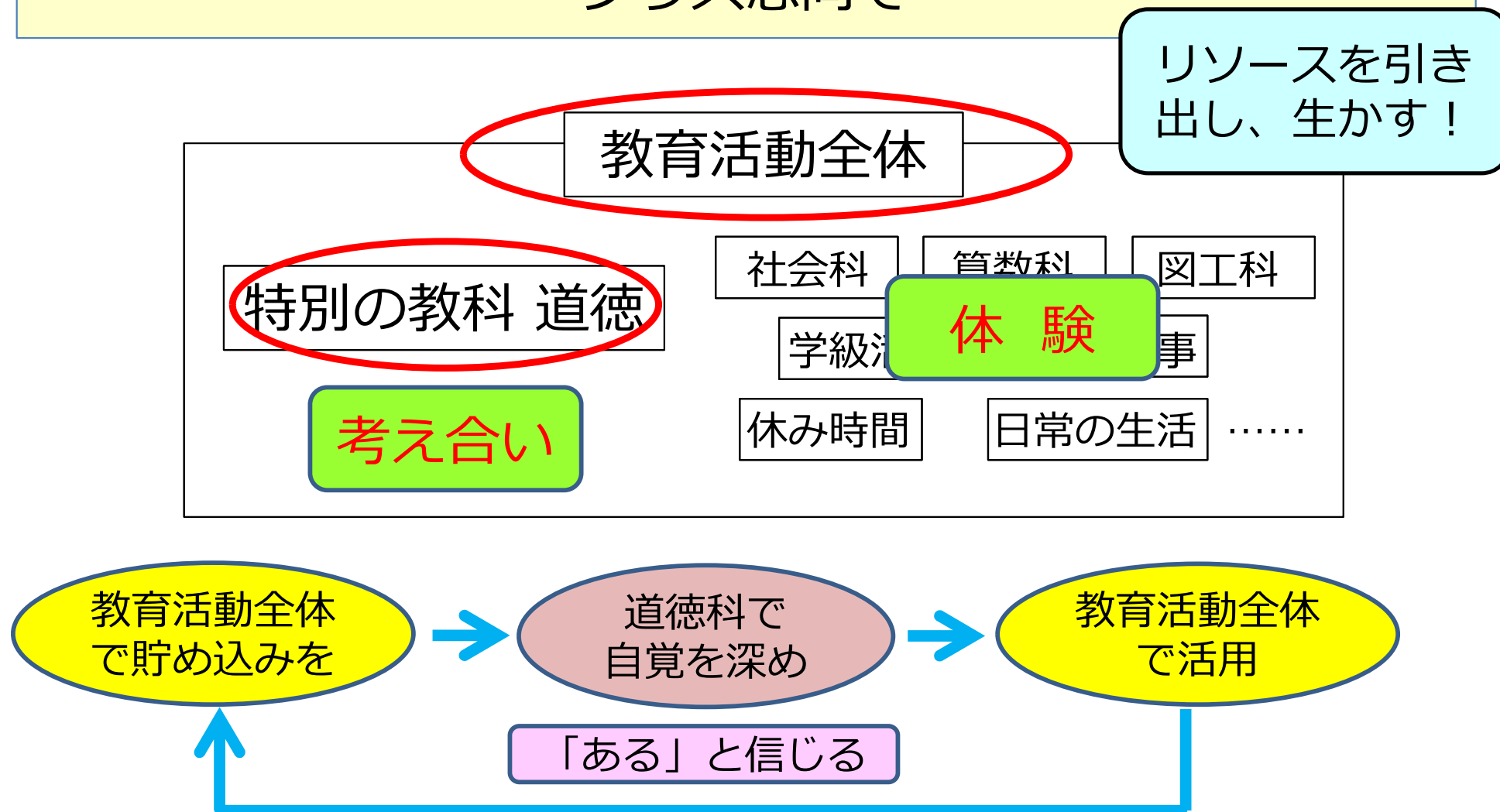
道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の（中：人間としての）生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。

道徳科の目標

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（中：広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（中：人間としての）生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

1 道徳科の授業とは

教育活動全体での道徳教育と要としての道徳科の両面から
プラス志向で



2 目指す道徳科の授業とは

「道徳科」の実践に向けての課題

- 発達の段階などを十分に踏まえず、児童生徒に望ましいと思われる**分かりきったことを言わせたり書かせたりする授業**になっている例がある。
- 読み物の**登場人物の心情理解のみに偏った形式的な指導**が行われる例がある。

中教審答申「道徳に係る教育課程の改善について」(平成26年10月21日)より

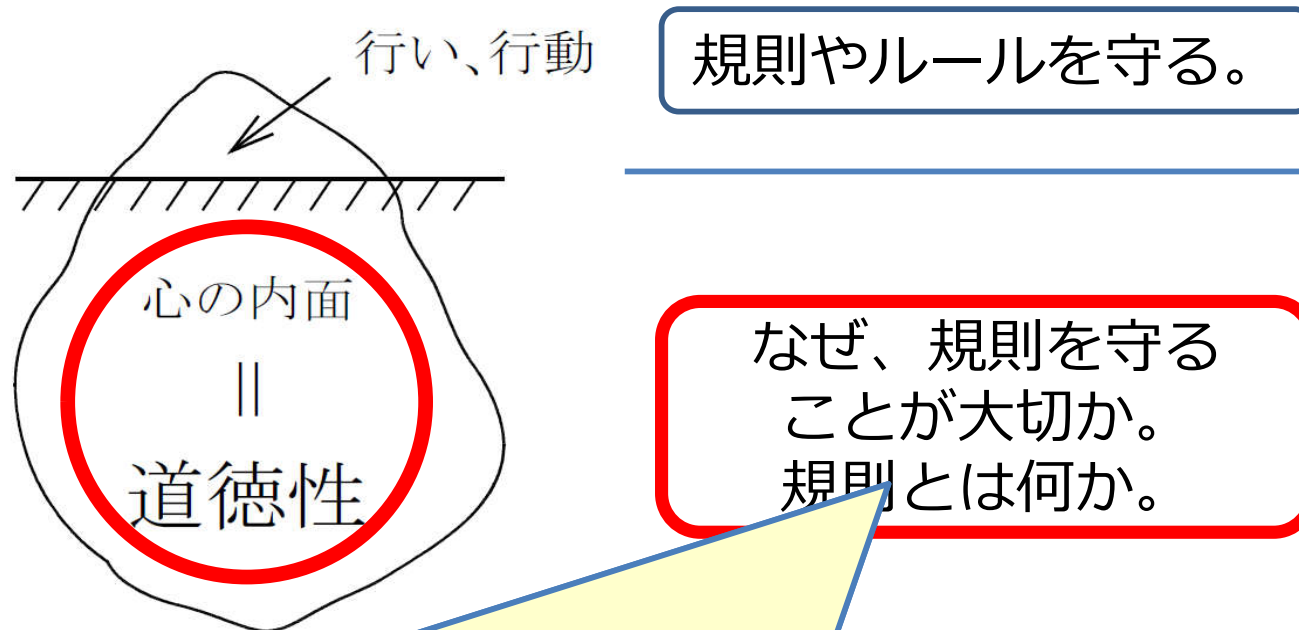
主体的・対話的で
深い学びのある授業！

分かったか？

あなたたち、
すごいね！

「考え、議論する道徳」で！

3 発達の段階とは



〈発達の段階〉

低学年 … きまりを守ると、みんなが楽しく、安心していい気持ちで……。

中学年 … みんな、安心して楽しく生活したいという思いがあり、……。

高学年 … みんな一人一人に権利があり、それを実現するために、……。

中学校 … 法やきまりは、そもそも私たちがよりよい社会の実現に向けて……。

3 発達の段階とは

(小)規則の尊重、(中)遵法精神、公德心

低学年

✓ きまりを守ると、みんなが楽しく、安心していい気持ちで生活できることを理解し、…。

みんながいい気持ち

中学年

✓ みんな、安心して楽しく生活したいという思いがあり、それを実現するためにきまりがあることを理解し、…。

みんな同じ思いや願いがある

高学年

✓ みんな一人一人に権利があり、それを実現するために、みんなに一定の義務があることを理解し、…。

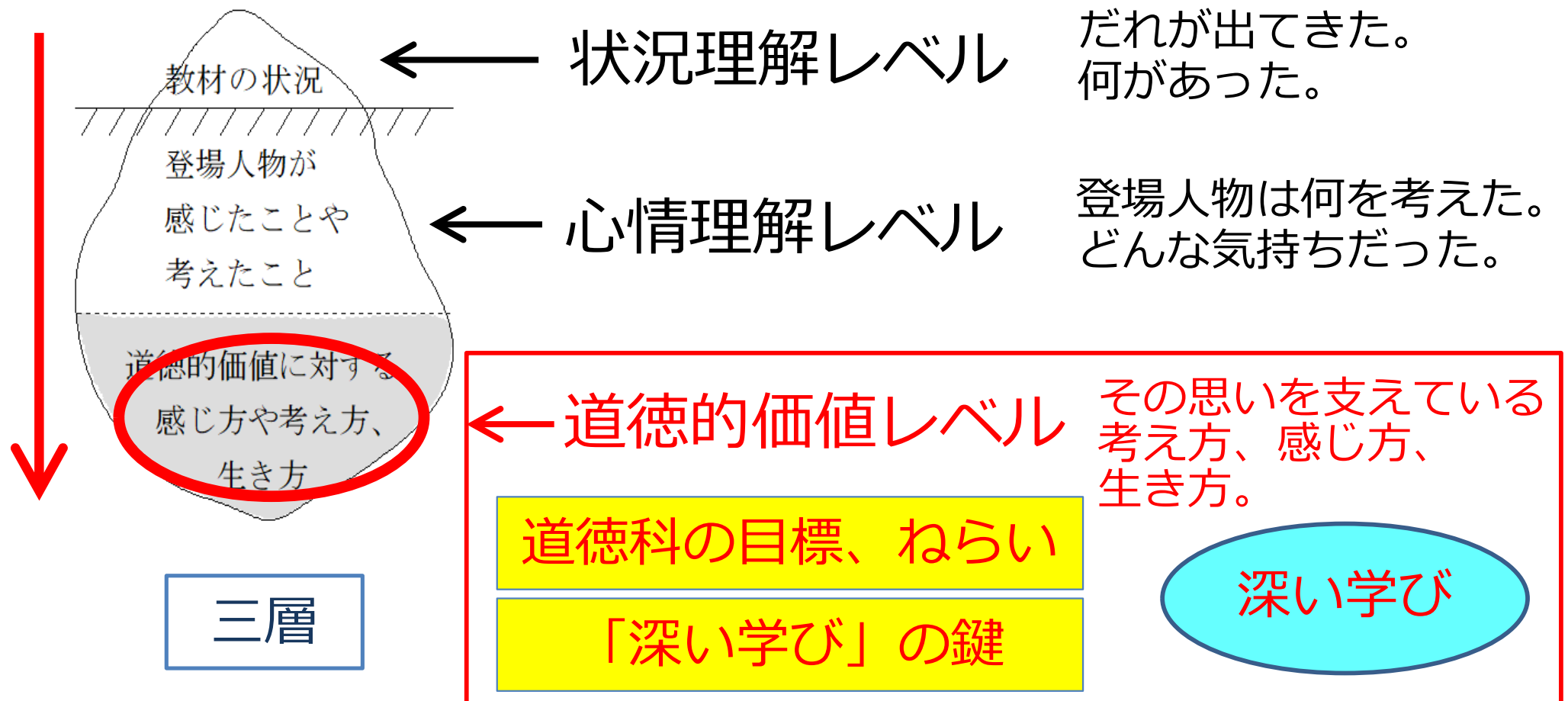
権利があり、義務がある

中学校

✓ 法やきまりは、そもそも私たちがよりよい社会の実現に向けて、強い思いや願いを込め、みんなで作り、自らに拘束を課したものであることを理解し、…。

みんなで作り、拘束を課した規則

4 小・中学校の具体例



4 小・中学校の具体例

小学校中学年・規則の尊重…「雨のバス停留所で」

文部科学省『わたしたちの道徳 小学校3・4年』

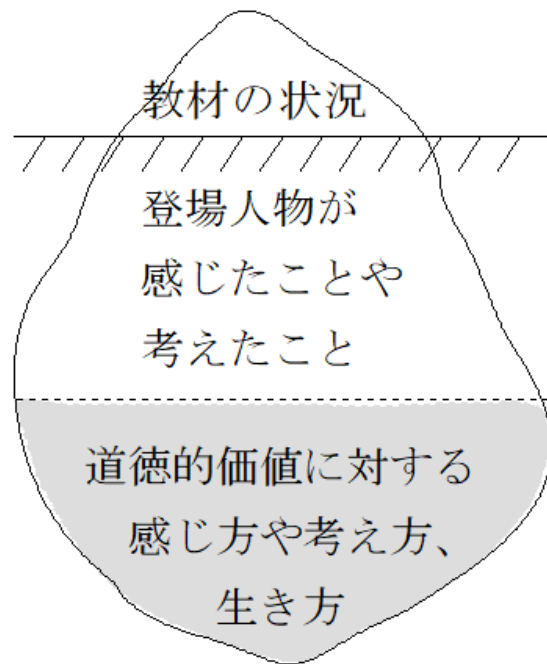
- 雨の中、お母さんと一緒に出かけたよし子。
- バスの停留所では、バスを待つ人たちが。
- バスが見えたとき、よし子は、一番先頭に。
- 周りの人たちは、そろそろと歩き始めた。
- バスが来て、かさをすぼめようとした瞬間。
- お母さんは、よし子をお母さんが並んでいた所へ。
- バスに乗ったが、席は空いていなかった。
- お母さんは、まどの外をじっと見つめている。
- よし子は、自分がしたことを考え始めた。
- バスのまどには、大つぶの雨が…。

4 小・中学校の具体例 〈小学校中学年・規則の尊重〉

- ① よし子は、何が間違っていたのでしょうか。
- ② 黙ったままのお母さんは、何を考えていたのでしょうか。
- ③ 黙ったままのお母さんを見て、よし子は、どんな気持ちだったのでしょうか。
- ④ 黙ったままのお母さんを見て、よし子は、どんなことを考えたのでしょうか。
- ⑤ 自分がしたことを考え始めたよし子は、どんなことを考えたのでしょうか。
- ⑥ 早く乗りたい、座りたい。同じ思いのよし子とお客さんとで、何が違ったのでしょうか。

4 小・中学校の具体例 〈小学校中学年・規則の尊重〉

⑤ 自分がしたことを考え始めたよし子はどんなことを考えたのでしょうか。



状況理解レベル…

- ・自分がしたことを考え始めた。

心情理解レベル…

- ・ほかのお客さんに嫌な思いをさせてしまった…。きちんと並ぼう。

道徳的価値レベル…

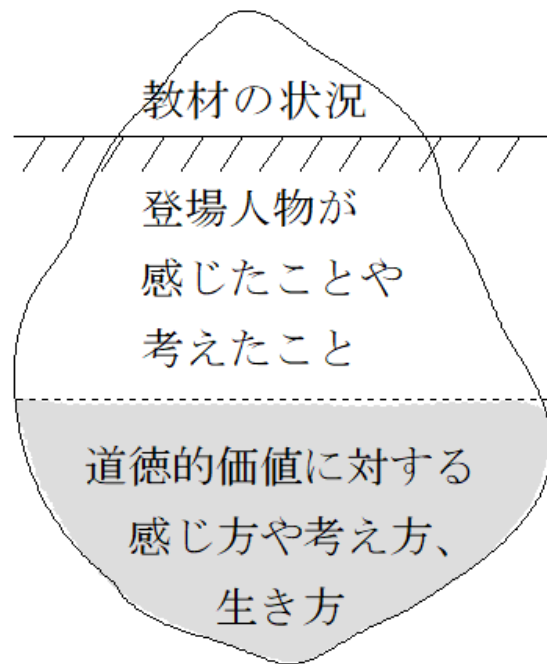
- ・ルールやきまりを守らないと、みんなに嫌な思いをさせてしまう。
- ・ルールを守れば、みんながいい気持ち。だから、守ることが大事。

4 小・中学校の具体例 〈小学校中学年・規則の尊重〉

- ① よし子は、何が間違っていたのでしょうか。
- ② 黙ったままのお母さんは、何を考えていたのでしょうか。
- ③ 黙ったままのお母さんを見て、よし子は、どんな気持ちだったのでしょうか。
- ④ 黙ったままのお母さんを見て、よし子は、どんなことを考えたのでしょうか。
- ⑤ 自分がしたことを考え始めたよし子は、どんなことを考えたのでしょうか。
- ⑥ 早く乗りたい、座りたい。同じ思いのよし子とお客さんとで、何が違ったのでしょうか。

4 小・中学校の具体例 〈小学校中学年・規則の尊重〉

⑥ 早く乗りたい、座りたい。同じ思いのよし子とお客さんとで、何が違ったのでしょうか。



状況理解レベル…

- ・ よし子は先頭に走った。お客さんは並んだ。

心情理解レベル…

- ・ 早く乗りたいし、座りたい。自分のために走ろう。
- ・ みんなそうだから、並ぼう。

道徳的価値レベル…

- ・ みんな、同じ願いや思いがある。
それらをきちんとかなえていくために、
ルールやきまりがある。

4 小・中学校の具体例 〈小学校中学年・規則の尊重〉

自分がしたことを考え始めたよし子はどんなことを考えたのでしょうか。

- ルールやきまりを守らないと、みんなに嫌な思いをさせてしまう。
- ルールを守れば、みんながいい気持ち。だから、守ることが大事。

低学年

早く乗りたい、座りたい。同じ思いのよし子とお客さんとで、何が違ったのでしょうか。

- みんな、同じ願いや思いがある。
それらをきちんとかなえていくために、ルールやきまりがある。

中学年

4 小・中学校の具体例 〈小学校中学年・規則の尊重〉

ねらいの書き方

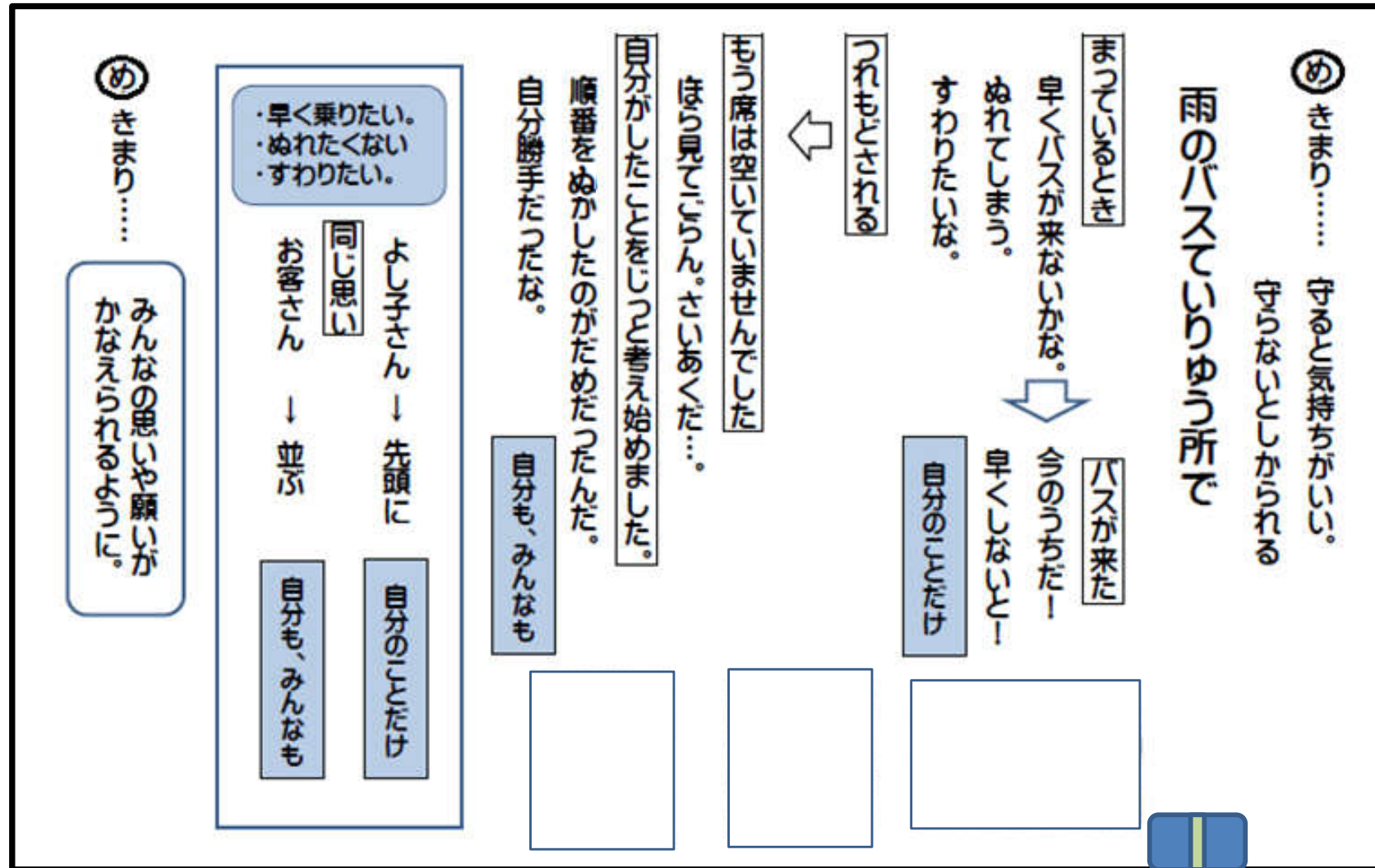
よし子とお客さんの思いを考えることを通して、約束や社会のきまりを進んで守ろうとする態度を養う。

よし子とお客さんの思いを考えることを通して、約束や社会のきまりの意義とは何かを理解し、それらを守ろうとする態度を養う。

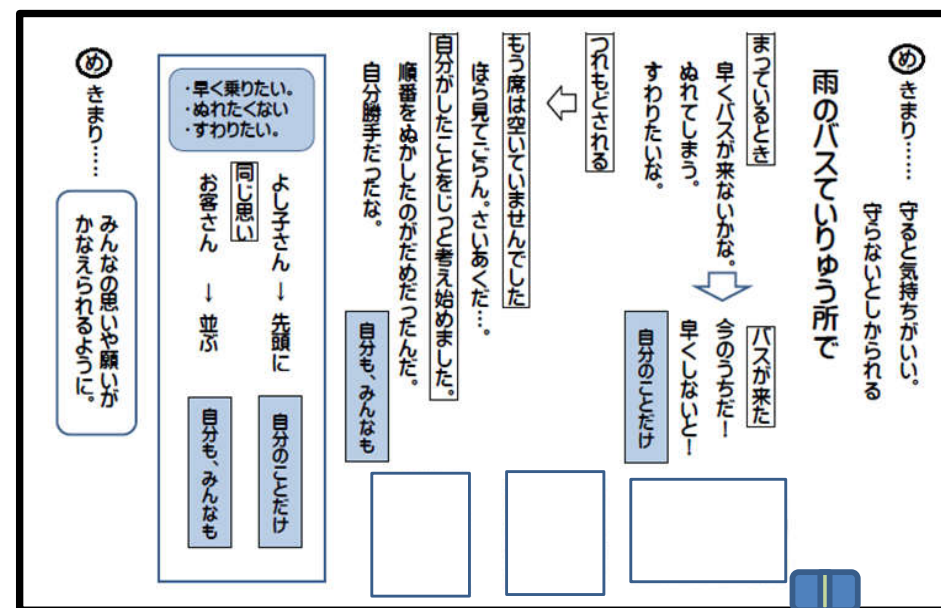
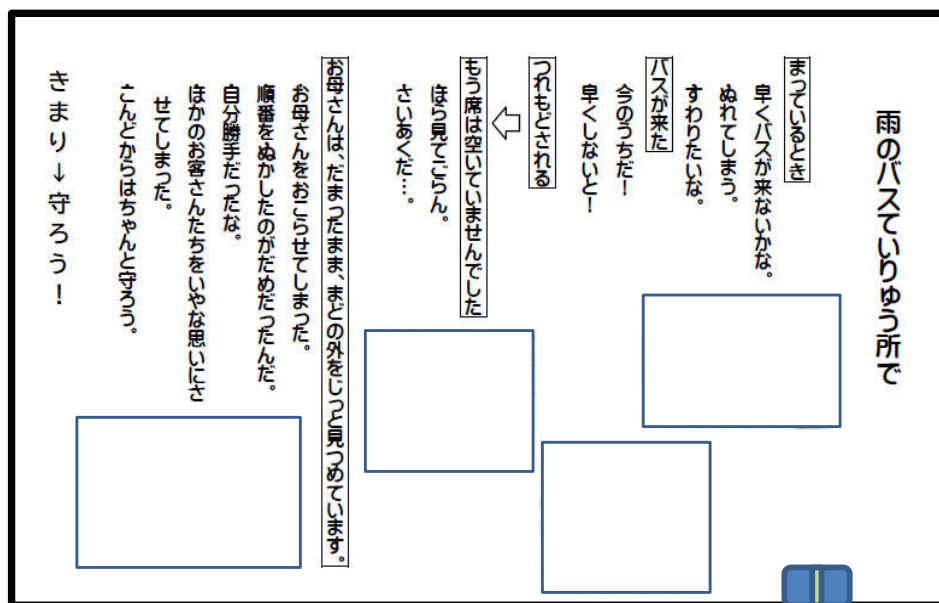
よし子とお客さんの思いを考えることを通して、みんなに、安心して楽しく生活したいという思いがあり、それを実現するためにきまりがあることを理解し、それらを守ろうとする態度を養う。



4 小・中学校の具体例 〈小学校中学年・規則の尊重〉



4 小・中学校の具体例 〈小学校中学年・規則の尊重〉



4 小・中学校の具体例 〈中学校・遵法精神，公德心〉

中学校・遵法精神，公德心…「二通の手紙」

文部科学省『私たちの道徳 中学校』

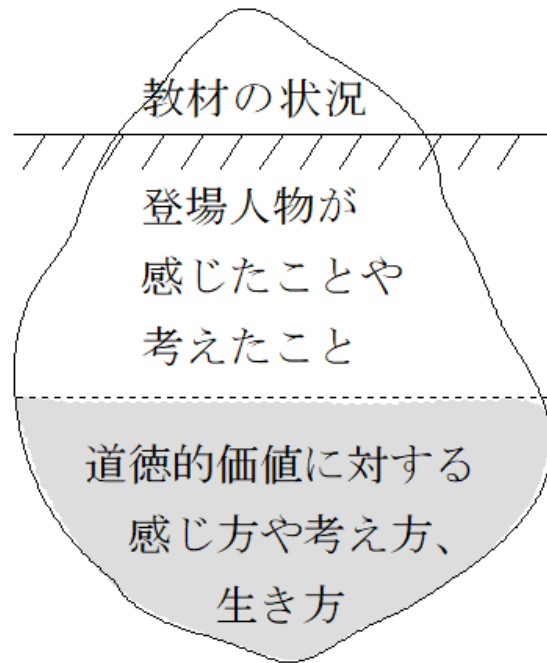
- ・ 入園時刻を過ぎた高校生を断る佐々木。
- ・ 元さんのことを回想。
- ・ 二人の姉弟が何度も動物園に。
- ・ 弟の誕生日にキリンやゾウを見せたいと懇願され。
- ・ 保護者同伴ではない二人を入園させた元さん。
- ・ 閉園時刻に二人は戻らず、騒ぎに。
- ・ 何とか無事、見つかる。
- ・ 元さんのもとに母親からの感謝の手紙と処分の手紙。
- ・ 二通の手紙を見比べ、「この年になって初めて考えさせられることばかりですよ。」
- ・ 晴れ晴れとした顔で、元さんは職場を去って行った。

4 小・中学校の具体例〈中学校・遵法精神，公德心〉

- ① どうして佐々木は、入園させなかったのか。
- ② 元さんのことをどう思う。
- ③ あなたなら入れますか、入れませんか。
- ④ 二通の手紙をながめながら、元さんが考えたことは何か。
- ⑤ 元さんが、この年になって初めて考えさせられたこととは何か。
- ⑥ どうして元さんは、晴れ晴れとして職場を去って行ったのか。

4 小・中学校の具体例 〈中学校・遵法精神，公德心〉

⑤ 元さんが、この年になって初めて考えさせられたこととは何か。



状況読解レベル…

- ・ この年になって初めて考えさせられた。

心情読解レベル…

- ・ 自分はルールを勘違いしていたな。
- ・ 縛られているのではなくて、思いを込め、自分たちで固くした規則だった。

道徳的価値レベル…

- ・ 法やきまりは、私たちが強い思いや願いを込め、みんなで守ろうと、自分たちで拘束を課したものだ。

4 小・中学校の具体例

(小)規則の尊重、(中)遵法精神、公德心

低学年

✓ きまりを守ると、みんなが楽しく、安心していい気持ちで生活できることを理解し、…。

みんながいい気持ち

中学年

✓ みんな、安心して楽しく生活したいという思いがあり、それを実現するためにきまりがあることを理解し、…。

みんな同じ思いや願いがある

高学年

✓ みんな一人一人に権利があり、それを実現するために、みんなに一定の義務があることを理解し、…。

権利があり、義務がある

中学校

✓ 法やきまりは、そもそも私たちがよりよい社会の実現に向けて、強い思いや願いを込め、みんなで作り、自らに拘束を課したものであることを理解し、…。

みんなで作り、拘束を課した規則

5 その他の工夫（例）

めあての提示

めあて：ルールについて考えよう。

めあて：ルールはどうして大切なのか？

before

中心発問

補助発問：ルールは、どうして大切なのか？

after

- ✓ 児童生徒に課題意識を持たせ、主体的な学習にできる。
- ✓ 授業前の意識（before）と授業で追求した意識（after）が板書に可視化され、児童生徒の手柄にもできる。
- ✓ 教材の話で終わるのを防げる。

5 その他の工夫（例）

書く活動

メリット

- ✓ 深く考えることができる。
- ✓ 自分の考えが明確になる。

デメリット

- ✓ 時間が掛かる。
- ✓ 自分の意見にとらわれてしまう。



- ✓ ここぞというときに、しっかりと時間を取って書かせる。多くて2回程度。中心発問や振り返りなどで書かせる。
- ✓ 中心発問のときは、書いたワークシートは机の中にしまわせて議論に参加させる。
- ✓ 振り返りのときは、議論ではないので、ワークシートを読ませて交流する。

目指す道徳科の授業とは

- 教師が大きな声でしゃべる「伝達型」の「教える」授業から、リソースを活かし、児童生徒が「考え、議論」し、児童生徒が「つかむ」授業。
- 児童生徒の発言の中に、発達の段階に応じた「ねらい」につながる「ダイヤモンドの原石」が必ず出てくる。それを見つけて、さりげなく全体の話題にし、みんなで考え合うスイッチを入れ、児童生徒につかませしていく。
- そのためには、教師はいちいち指導案を見に行くのではなく、児童生徒と共に考え合う姿勢でコーディネートやファシリテートを！
- それが、シンプル、かつ、深く考え合う授業。

発達段階に応じた道徳科の指導

畿央大学

教授 島 恒生



独立行政法人教職員支援機構